

ひびき

第 57 号

2019 年 6 月 30 日

引退して

52 期 部長 上田 彩乃 (B. Sax)

こんにちは。ABB 52 期部長の B. Sax パート 3 年、上田彩乃です。私たち 52 期は、昨年 12 月 22 日にウィルあいちにて行われた「創部 50 周年記念クリスマスコンサート」をもって、引退しました。

無事コンサートを終え、創部 50 周年を迎えることができ、悲願の金賞をも頂くことが出来ましたのは、ABB の伝統を支えてくださった、武田先生を初めとする OB・OG の皆様のご支援、ご指導があったからこそだと感じています。ありがとうございました。

皆様から寄贈していただいた楽器の数々、特にチャイムはこれからの ABB を象徴する楽器として、大切に使用させていただきます。本当にありがとうございました。

この 1 年間、部長を務めさせて頂きましたが、その際には本当にたくさんの方々にお世話になりました。私は ABB 部長だけでなく、鯨光祭の前夜祭実行委員長と兼任するという無謀な挑戦をしました。部員の皆や先生方に沢山迷惑をかけてしまいましたが、その度に支えてもらい、仲間の大切さ、ありがたさを身に染みて感じました。

ABB を通じて、仲間とひとつの目標に向かって努力する難しさや楽しさ、音楽を共有出来る嬉しさ、そして吹奏楽が大好きだという気持ちを得ることが出来ました。

これはかけがえのない経験です。これからは未来の ABB のために、1 人の OG としてこれからもずっと支えていきたいと思えます。

現役より

53 期 部長 古市 紗子 (A. Sax)

53 期部長の古市紗子です。新入部員 13 名を迎え、計 23 名でスタートを切り 1 か月が経ちました。つい先日、朝日コンクールの課題曲も 4 番の「行進曲 道標の先に」に決定し、残り少ない日にちの中でどう仕上げていくかと悩みながらも、毎日楽しく練習しています。

昨年のクリスマスコンサートでは、OB 会長の武田先生をはじめ 15 名の OB の方々と一緒に演奏していただくことができました。受付、客席にも多くの OB の方々のお姿がありました。普段の私たちには到底できない経験で、言葉では表現できないほどの感動を味わいました。この貴重な体験への感謝を今後の演奏で表していきたいと思っています。またこれを機に、現役と OB との交流が増えればと願っております。ぜひ、私たちの演奏を聴きにきていただき、ご指導をいただければ幸いです！

今年のクリスマスコンサートは、12 月 19 日（木）です。お誘いあわせの上、多くの OB の方々にお越しいただきたいです。53 期がそろって演奏できる最後の舞台です。この引退の日に悔いが残らないよう、また OB の方々に感謝の気持ちが伝わるような演奏ができるよう精一杯頑張っていきますので、ご指導、応援のほどよろしくお願い申し上げます。

【副部長】

小坂優月 (Cl.)

【会計】

松本日向 (T. Sax)

初夏の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。私は今年度より愛知県高等学校吹奏楽連盟事務局長という大役を仰せつかり、愛知県高等学校文化連盟（高文連）の事務局次長の任期も今年度までであるため、年度初めから大変慌ただしくしております…。10連休も部活と吹奏楽連盟の連絡調整や会議資料作成等で過ぎていってしまいました。瑞陵高校勤務も9年目に入り、10年の大台が見えてまいりましたが、吹奏楽部も新たなシーズンを迎え、16人という、瑞陵としては少ない人数ながらもやる気溢れる新入部員が入ってきてくれました。2年生が25人いるので、コンクールまで活動を続けると言ってくれている2人の3年生も加えて合計43人で大会に臨む予定です。旭丘は、新入部員が12人で、合計22名で新年度の活動をスタートしたと、今年度から主顧問になられた長谷川奈美先生から聞きました。

昨年度行われました旭丘高校吹奏楽部創部50周年記念事業は、記念パーティー、クリスマスコンサート、楽器贈呈など、すべての事業を無事終えることができました。記念パーティーに出席して下さった皆様、クリスマスコンサートに出演して下さった皆様・聴きにきて下さった皆様、寄付金を出して下さった皆様、本当にありがとうございました。また、これらの記念事業は運営委員の皆様の大なるお力添えなしには実現できませんでした。要所要所を締めて下さった1期の加藤様、常に運営委員会をリードし、議事録の作成やお金の管理まで多大なお骨折りをいただいた3期の岩間様、ひびきの発送にご尽力くださり、無償でご自身の会社の会議室を提供してくださっている4期の佐藤様、毎回の会議を取り仕切ってください、的確なスケジュール管理と運営委員会の運営をして下さった15期の川本様をはじめ、運営委員の大先輩方には大変お世話になり、感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。

私は長らくこの旭丘高校吹奏楽部OB会の会長を務めさせていただいておりますが、細々ながら続けてくることがやっとでした。この50周年を機に、これだけ多くの方々の温かいご支援・ご協力をいただくことができましたので、この流れを大切に、OB会の活動を活性化させ、今まで以上に現役の部活動を支援していければと思います。今後とも、皆様のお力添えを何卒よろしくお願い致します。

最後に、この「ひびき」の発行についてですが、紙による発行は予算の都合や発送作業の膨大さもあり、今回を最後にする方向で動いております。その後はWEBで年2回発行する方向で検討中です。また、現状に合うように規約改訂の準備も進めております。「ひびき」の発行や規約改訂につきまして、ご意見等ありましたらOB会のメールアドレスまでご連絡ください。

OB会連絡用アドレス：asahigaoka_brass_band@yahoo.co.jp

2019年度総会・同窓会案内

日時：2019年8月17日（土）16：00～18：00

会場：レストラン宙（そら）ナディアパーク店（昨年度の創部50周年記念パーティーと同じです）
名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパークビジネスセンタービル8階 電話 052-241-8760

会費：5,000円（学生2,000円）

申込方法：同封のハガキまたはメールにて申し込む。

* 氏名、連絡先、期（又は卒業年）、パートをご記入ください。

参加申込締切：2019年7月31日（水）（必着）

会費支払い方法

当日支払も受け付けますが、現役部活動援助金と合わせて事前の御振込にご協力ください。

振込先 三菱UFJ銀行今池支店 普通0332610

旭丘高校吹奏楽部OB会 援助金積立口 代表 武田 直樹

※御振込後、OB会連絡用アドレスにメールにて、氏名、連絡先、期（又は卒業年）、パート、内訳（同窓会参加費、OB会費、援助金金額等）をご連絡ください。

なお、余剰金は現役部活動援助金に充当させていただきますので、ご了承ください。

OB会連絡用アドレス：asahigaoka_brass_band@yahoo.co.jp

※同封した払込取扱票に内訳を記入していただければ、OB会費と同時に御振込いただけます。

お礼とお願い

創部 50 周年記念事業運営委員会会長

1 期 加藤 知明 (Fl.)

旭丘高校吹奏楽部創部 50 周年事業に際し、1 期生ということで会長に選任されました。実質的な作業は、担当の運営委員の皆様が献身的にしてくださいました。お陰様で記念パーティーには多数の OB・OG の方々にお集まりいただき、記念クリスマスコンサートも多く OB・OG の方々に参加・鑑賞していただきました。現役生への楽器贈呈などのための寄付金についても、多数の方々から目標額を上回る額の寄付をいただきました。OB・OG の皆様の旭丘高校吹奏楽部と部活動の思い出に対する深い愛情を感じる事が出来ました。OB・OG の皆様と運営委員の皆様の多大なご協力に感謝申し上げます。

ただ残念なのは、20 代、30 代の OB・OG の方々の参加者数が少なかったことです。今後も OB 会の活動が長く続くためには、若い世代の OB・OG の方々に積極的に参加していただくことが必要です。若い世代の方々が OB 会活動に参加しやすい方を、OB 会役員とともに考えていきますので、OB・OG の皆様のより一層のご協力をお願い申し上げます。

旭丘高校吹奏楽部創部 50 周年記念事業の総括

創部 50 周年記念事業運営委員会運営委員長

15 期 川本 直義 (Perc.)

2018 年度は旭丘高校吹奏楽部創部 50 周年事業をおこないました。2016 年 1 月に第 1 回の運営委員会を開催し準備を進めました。少しずつ盛り上げるために、2016 年、2017 年の OB 会総会懇親会の企画もこの委員会でおこないました。2018 年 9 月 29 日には、旭丘高校吹奏楽部創部 50 周年記念パーティー（兼総会）をレストラン宙（そら）ナディアパーク店で開催し、約 80 名が集まりました。懐かしい写真の展示や音源の試聴などでもできるコーナーをつくり好評でした。

12 月 22 日には、愛知県女性総合センター「ウィルあいち」で創立 50 周年記念クリスマスコンサートを開催しました。毎年現役高校生が開催しているクリスマスコンサートの最後の部に OB・OG の有志が 14 名参加しました。演奏した曲は、「エル・クンバンチェロ」「宝島」「サウンド・オブ・ミュージック・メドレー」「イン・ザ・ムード」でした。事前の練習機会が少なくて心配でしたが、本番は大変盛り上がりました。演奏会終了後は、地下 1 階にある Café & Restaurant CLOVER CAFÉ にて交流会を開催し、現役生と OB・OG が軽食とドリンクで歓談しました。

この 50 周年事業では、現役へ贈る楽器購入などのための寄付金も集め、目標 100 万円を達成し、チャイムやバスドラムなどを贈りました。

50 周年記念事業運営委員会は解散しますが、OB 会として寄付金振込用の銀行口座は残ります。50 年は単に通過点です。現役の活動も続き、OB・OG も増えていきますから、これからも交流を続け、現役への支援も引き続きおこなっていきましょう。

現在、50 周年記念事業運営委員会では、現役員の方とともに、引き続き OB 会規約改訂に取り組んでおり、それをやり遂げてから委員会を解散させていただきます。記念事業運営委員の皆様、長期間にわたり本当にお疲れ様でした。そして、大勢の方に様々な形でご協力をいただきました。ありがとうございました。

以下に、50 周年記念事業運営委員会で頑張っていたいただいた皆様の名前をご紹介します。

旭丘高校吹奏楽部創部 50 周年記念事業運営委員（2018 年度 OB 会役員含む）

日比野満（1 期）、加藤知明（1 期）、岩間芳子（3 期）、中川敦夫（3 期）、佐藤文弘（4 期）、
内藤正明（12 期）、鈴木達也（14 期）、川本直義（15 期）、太田 愛（20 期）、
児堀もゆる（22 期）、廣部聡子（26 期）、武田直樹（29 期）、池田美保子（33 期）、
阿藤里帆（48 期）、加藤奈緒（48 期）、弓 春菜（48 期）

（敬称略）

旭丘高校吹奏楽部創部 50 周年記念事業会計報告

収入	創部 50 周年事業寄附金	1,130,000 円
	記念パーティー余剰金、お祝儀等	182,909 円 (* 1 内訳①参照)
	2017 年度援助金残高 (ひびき記載決算後訂正)	438,488 円 (1,000 円減額訂正)
	2018 年度援助金	105,900 円 (振込時内訳記入無し分含む)
	普通預金利息	5 円
	寄附金・援助金・その他収入総計	1,857,302 円
支出	クリスマスコンサート援助金総額	417,641 円 (* 2 内訳②参照)
	楽器等現役援助総額	1,200,724 円 (* 3 内訳③参照)
	支出総計	1,618,365 円
差し引き現役援助金残高	(UFJ 銀行援助金口座残高)	238,937 円 (次年度へ繰り越し)

上記について、相違ないこと、2019 年 3 月 27 日現在援助金口座残高に一致することを報告します。
2019 年 3 月 27 日

旭丘高校 OB 会 50 周年記念事業運営委員会会計 岩間芳子

上記について、関係書類を監査したところ、適正かつ正確に施行がなされていることを認めます。
2019 年 4 月 15 日

会計監査 廣部聡子

旭丘高校吹奏楽部創部 50 周年記念事業会計内訳

①旭丘高校吹奏楽部創部 50 周年記念パーティー収支

出席者数：

社会人会員 74 名 (会費 6,000 円) 学生会員 2 名 (会費 3,000 円) 招待 (恩師) 1 名 合計 77 名

収入：

会費収入 6,000 円×74=444,000 円 3,000 円×2=6,000 円 小計 450,000 円

その他収入 熊崎先生よりご祝儀 5,000 円 二次会残金 23,613 円 小計 28,613 円

収入合計 478,613 円

支出：

メイフード株式会社 (レストラン宙) 代金 小計 294,192 円

ダイソー文房具 名札、模造紙、写真展示用ファイル等 小計 1,512 円

支出合計 295,704 円

(* 1) 記念パーティー収支 478,613 円-295,704 円=182,909 円 (援助金収入に算入)

②創部 50 周年記念クリスマスコンサート関連収支

1) クリスマスコンサート援助

1. 会場費補助金（例年文化小劇場使用時との差額分）	140,000 円
2. 合同演奏用楽譜代	73,656 円
3. パンフレット印刷代補助金	40,000 円
4. 照明業者支払い金＝リプリーミュージック	137,000 円
クリスマスコンサート援助支出合計	△390,656 円（#1）

2) クリスマスコンサート後 現役、OB・OG 交流会収支

OB・OG 参加 29 名	現役参加約 20 名	顧問の先生 2 名
収入 OB・OG 参加費	1,000 円×29=29,000 円	
支出 クローバーカフェ支払い	60,000 円	
交流会案内コピー代	300 円	支出合計 60,300 円
交流会収支	29,000 円－60,300 円＝△31,300 円（#2）	

3) クリスマスコンサート打ち上げ会収支

収入 会費 4,000 円×8=32,000 円（男性）	
3,000 円×3=9,000 円（短時間退席 1 名、女性 2 名）	合計 41,000 円
支出 アオイカフェ泉 支払い	36,685 円
打ち上げ会収支	41,000 円－36,685=4,315 円（#3）

（*2）クリスマスコンサート関連収支総計（#1+#2+#3）＝△417,641 円（援助金より支出）

③楽器等現役援助（2018 年度分）

1. チャイム及びチャイム付属品	674,400 円	
ティンパニヘッド交換	60,156 円	
ドラムセットヘッド交換	24,732 円	合計 759,288 円
2. ストロボチューナーがわりの iPad およびアプリ		合計 68,136 円
3. 楽器修理代補助（E♭クラリネット、アルトクラリネット）		合計 48,600 円
4. バスドラム、バスドラムスタンド		合計 324,700 円

（*3）楽器等現役援助 総計 1,200,724 円（援助金より支出）

OB 会費 2018 年度会計報告（2018 年 4 月 1 日～2019 年 3 月 31 日） 48 期 弓 春菜（Tb.）

<収入>		<支出>		
前年度繰り越し	334,809	ひびき 55 号発行代	15,810	
年会費	319,000	ひびき 56 号発行代	129,718	
小計	653,809	小計	145,528	残高 508,281 （次年度へ繰り越し）

新・事務局長より

49 期 鈴木 日和子（Hr.）

今年度事務局長を仰せつかりました、49 期ホルンパートの鈴木日和子と申します。高校卒業後はなかなか定期演奏会などを聴きに行くこともかなわず、旭丘高校からも遠ざかっていましたが、OB 会の仕事を通して、また ABB と関わりがもてることを期待しております。微力ながら旭丘高校吹奏楽部の発展のためにお手伝いできればと思っております。よろしくお願いいたします。

<連絡先（事務局長 鈴木日和子）>

初めまして。この度OB会会計を務めさせていただくことになりました、50期クラリネットパートの川本彩果と申します。

旭丘高校を卒業して2年が経ちましたが、OB会会計という形で再び母校の吹奏楽部に携わることができると大変嬉しく思います。先日も、ABBの仲間と久しぶりに再会したのですが、皆といると当時の日々のように心の底から楽しく、いくら時間があっても足りないほどです。

このような仲間と出会えた、こんなにも素敵な縁をくれたABBへの感謝の気持ちを大切に、この部活動を陰ながら支えていけたらと思っております。未熟ゆえに至らない点はあるかと思いますが、誠意をもって全力で努めてまいりますので、温かい目で見守っていただけると幸いです。一年間、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和元年度OB会費納入のお知らせ

*会費は年1000円となっております。

- 事務処理上、会費納入には郵便振替をご利用ください。(同封の振り込み取扱票をご利用ください。なお、「通信欄」に、期数(OB年数)、パート、会費の内訳の明記を必ずお願いします。)
- 複数年分をまとめてお支払いの際は「〇年分」と記入してください。(記入がない場合、1000円を超える金額は現役部活動援助金として受理しますので、お気を付けてください。)
- 現役生の楽器購入援助金も取り扱っております。会費と同時に寄付される方は内訳を必ず明記してください。

<口座番号>00850-4-58171
 <加入者名>旭丘高校吹奏楽部OB会
 <通信欄> 第〇期、パート名、氏名(旧姓)、OB会費××××円(〇年分)、援助金××××円、同窓会参加費××××円 等
 ※「〇年分」の記載がない場合は会費1000円、残りを援助金として扱います。
 住所変更、名簿の訂正、その他ご意見、近況報告等があれば、ご自由にお書きください。

- 口座番号の一桁目に、あらかじめ「0」が記入してある振り込み用紙がございますが、そのままお使いください。

<銀行振込利用の場合>
 銀行名…ゆうちょ銀行(金融機関コード9900)
 店名…〇八九店(店番089) 預金項目…当座 口座番号0058171

・三菱UFJ銀行への振込みでも構いません。
 銀行名…三菱UFJ銀行(金融機関コード0005)
 店名…今池支店(店番263) 預金項目…普通0332610
 旭丘高校吹奏楽部OB会 援助金積立口 代表 武田 直樹

※銀行振込の場合(振替用紙を使用しない場合)は、振込み後、OB会連絡用アドレスにメールにて、氏名、連絡先、期(又は卒業年)、パート、内訳(OB会費××××円(〇年分)、援助金××××円、同窓会参加費××××円 等)をご連絡ください。

- ご不明な点、お問い合わせは、会計の川本までお願いします。

今年度、編集局長を務めさせていただきます、49期フルートパートの山田祥子です。

大学生になり吹奏楽からは離れてしまいましたが、ひびきの編集を期に久しぶりに部員と会い、楽しかった高校生活を思い出しました。この度は再びABBに関わることができ、とても嬉しく思っています。ABBの活動を支援できるよう精一杯務めますので1年間どうぞよろしくお願いいたします。

これをもちまして簡単ではありますが、今回のひびき編集後記といたします。原稿をお寄せくださった方々、ありがとうございました。

ひびきに関してご意見・ご要望がございましたら下記までお知らせください。コンサート情報や同窓会についてなど、ひびきを通してOB会の皆様にお知らせしたいことがある方もどうぞご連絡下さい。

〈連絡先（編集局長 山田祥子）〉